

(土石流被害の防止による評価)

(区分) 国補

事業名	復旧治山(通常)	事業箇所	甲州市	大和町	初鹿野	地区名	白蛇沢支流(しれいさわしりゅう)	事業主体	山梨県
(1)事業概要									
①課題・背景									
本計画箇所は、甲州市大和町古部地区に流入する一級河川白沢川上流の白蛇沢に位置している。近年の集中豪雨により溪流に溪岸浸食が発生し、荒廃が顕著となり、下流への土砂流出の恐れが高まったため、土砂流出対策を早急に実施し、保全対象の保護を図る必要がある。					(3)事業の妥当性評価 ①公共関与の妥当性(行政が行うべき事業か) ・森林法第41条第1項に規定された「保安施設事業」に該当 ②事業執行主体の妥当性(県が行うべきか) ・森林法第41条第3項の規定により都道府県知事が整備 ③経済妥当性 費用便益費 便益(B)/費用(C)= 2.32 > 1.0 ・便益(B)= 357 百万円 ・費用(C)= 154 百万円 ④事業実施・規模の妥当性 ・流域内は治山堰堤が設置されているが、満砂となっている。なお、砂防ダムの計画はない ⑤整備手法の有効性 ・保安林機能の回復を図る目的から治山事業による整備が有効 ⑥環境負荷への配慮 ・切土法面は緑化し、裸地を残さない ・使用機械は排ガス対策型とし、環境負荷を軽減する ⑦事業計画の熟度 ・地元甲州市より強い要望あり				
②整備目標・効果									
□主要目標 ○土石流災害の防止 保全対象 人家18戸 国道300m 市営林道900m 鉄道100m 土砂整備率 (現況)19% < 70% ※ 災害実績 無 ※ 重要公共施設 有(避難所 古部集落センター) ※ (第1次緊急輸送道路 国道20号) ※ (※ 評価基準値)									
□副次目標									
-									
□副次効果									
○飲雑用水の安定供給(古部地区の簡易水道施設) ○被災時の被害波及の防止(第1次緊急輸送道路 国道20号 及び JR中央本線)									
(2)整備内容と整備量									
①整備内容 谷止工6基									
②整備期間 平成29年度～平成31年度									
③総事業費 160百万円(国費 72百万円(1/2) 県費 88百万円(1/2))									
④全体計画									
平成29年度 谷止工2基 55百万円									
平成30年度 谷止工2基 45百万円									
平成31年度 谷止工2基 60百万円									
⑤既整備内容・期間・事業費									
平成10年度 谷止工1基 26百万円									
平成11年度 谷止工1基 33百万円									
(4)事業間優先度評価 ・貢献度ランク: a 副次効果ランク: 1 優先度評価: S I (5)総合評価 ・(3)及び(4)の結果から「最優先」に実施 【事業位置図等】 <p style="text-align: center;">省 略</p>									